



● 政策問題 ●

・ 8月合宿特別例会 8月30日(日)～8月31日(月)

出席者 13名 場所 箱根湯本保養所 青風荘

(1) 科学の諸体系とその関連性：飛岡 健 (Human Assessment Lab.)

工学、特にシステム(関連)工学を専攻した後、社会科学や人文科学分野の研究に転換し注目される人たちがいるが、演者もその1人で、その十分訓練された自然科学的素養をもとに自然科学と社会科学の関連性や手法についてシステムズ・アプローチを展開した。

(2) 政策科学と国際環境：福島康人(防衛研修所)

国の経済力や国力を定量的に計測する1つにコントリ・リスクなどがあるが十分とはいえない。クラインの「経済力と軍事力」の測定的方式にそって、定性的な内にある程度、定量化をもちこむ考え方を紹介し、またこの方式にそって演習を行なった。

(3) ヒューマンウェアについて：沢 勲(関西大)

ハードおよびソフトと併立するヒューマン・ウェアについての考え方をのべた。

・ 9月例会

出席者 9名 場所 三菱総研 第二会議室

講師 上田亀之助(上田イノベーション研究所)

議題 「テトラ立体思考と人間行動の分析」

・ 10月特別研究会〈合意・統合手法シンポジウム〉

日時 10月17日(土) 13:30～17:30

場所 三菱総研 セミナー室(タイムライフビル)

演者および議題

ポリシー・デザイン法 中村信夫(システムデザイン研)

SR法(改LENS法) 小岩 明(社会環境システム研)

SINPL 柴田祐作(日立製システム研)

司会 今村和男(防衛大)

複雑多様化する社会のなかで、計画と合意形成の技術は発展が注目され期待されている分野である。今村教授のご尽力で3講師を中心に、女性4名、外人1名をふくめた28名の人が参集して熱心に討議した。